

太白区ママたちの 事故体験談の巻



1. お手伝いをするつもりが、炊飯器でやけど!



この時期の子どもはお手伝いをたくさんしようとしてくれます。ごはんをよそうつもりで炊飯器を開けたら、炊飯器でやけどをすることもあります。子どものお手伝いをしたい!という気持ちを尊重しながら、危険のないように注意しましょう。

対応 炊飯器のやけどに限らず、ストーブやお鍋、湯沸しポット、アイロンなど子どもがやけどをする危険は家にたくさんあります。危険なものが子どもの手が届くところに置かれていないか確認をしましょう。

2. ベランダなど高いところは要注意!!

子どもたちは窓の外の景色や、高いところに興味津々です。ベランダに椅子や植木鉢など子どもの踏み台になるようなものはベランダに置かないようにするなどの対策が必要です。

対応 子どもが一人でベランダに出られないように柵を置くことや防犯グッズを活用することが有効です!ベランダだけではなく、出窓の近くにソファや棚などを置かないようにし、子どもが登れないようにすることも事故予防につながります。

3. ピーナッツを鼻に入れてしまった!

子どもはピーナッツなどの豆やピー玉、小さなおもちゃなどを鼻や耳に入れて遊ぶことがあります。耳や鼻に入れた異物が取れなくなってしまい事故となることがあります。また、子どもののどは未熟なので、気管に物が入りやすくピーナッツなどの豆類を与えるのは危険です。気管に入ったことに気付かずそのままにしていると肺の炎症を起こすことがあります。



対応 子どもが鼻や耳に入れる小物が側にないよう、過ごす環境を整理整頓をしましょう。また食事やおやつの際は食べながら遊ぶ習慣をつけないようにし、就学前まではピーナッツは与えないようにしましょう。

4. 自転車の車輪で足を怪我した!

自転車に子どもを乗せていて、車輪に足が巻き込まれてしまったという事故が多くなります。足の巻き込まれ防止のガードを取り付けるなど事故予防の対策方法があります。



対応 自転車用幼児座席は販売店で適切に取り付けてもらいましょう。使用の際は、体重制限に注意し、足乗せを踏み台として使用しないようにしましょう。また、「仙台市自転車の安全利用に関する条例(平成31年1月1日施行)」でヘルメットを着用するよう努めなければならないと定められました。



5. 車のドアに手を挟めてしまった!

子どもの指に気づかずに車のドアを閉めてしまうと大きなけがにつながります。車のドアだけでなく、エスカレーターなどに手を挟めて起きる事故が増えてきます。保護者が目の前で見ていたなかで起きた事故でも、対応することが難しい場合があります。



対応 閉める時は指などを挟まないか確認し、ドアやパワーウィンドウは子どもが自由に開けられないようにロックしておきましょう。また、危険な場所では子どもを遊ばせないようにする、エスカレーターの非常ボタンはどこにあるのか確認をするなど、日ごろからの対策が大切です。

不慮の事故は子どもが亡くなる原因の上位にあります。全国的にみると、不慮の事故による死亡原因は、0歳代では窒息、1~4歳代では、窒息、溺死・溺水が多くなっています。

H30年度 太白区乳幼児の事故実態調査

★6~7人に1人が病院受診が必要な事故を経験していました!

★多かった事故は

0歳代 1位:転落 2位:やけど 3位:転倒

1歳代 1位:やけど 2位:転落 同率:転倒

2,3歳代 1位:転倒 2位:転落 3位:ぶつかる

その他に、切る・刺す、誤飲、はさむといった事故が多かったです。

子どもに起こりやすい事故を知って、安全・安心な環境を整えていきましょう!

※メンバーがイベント等でお話いたします!ご希望の際はお声掛けください!

太白区保健福祉センター 家庭健康課

住所/仙台市太白区長町南3丁目1-15

電話/022-247-1111

子どもの事故予防

わんぱく期 (2歳6か月以降)

ホッ

と安心・安全な
環境を!

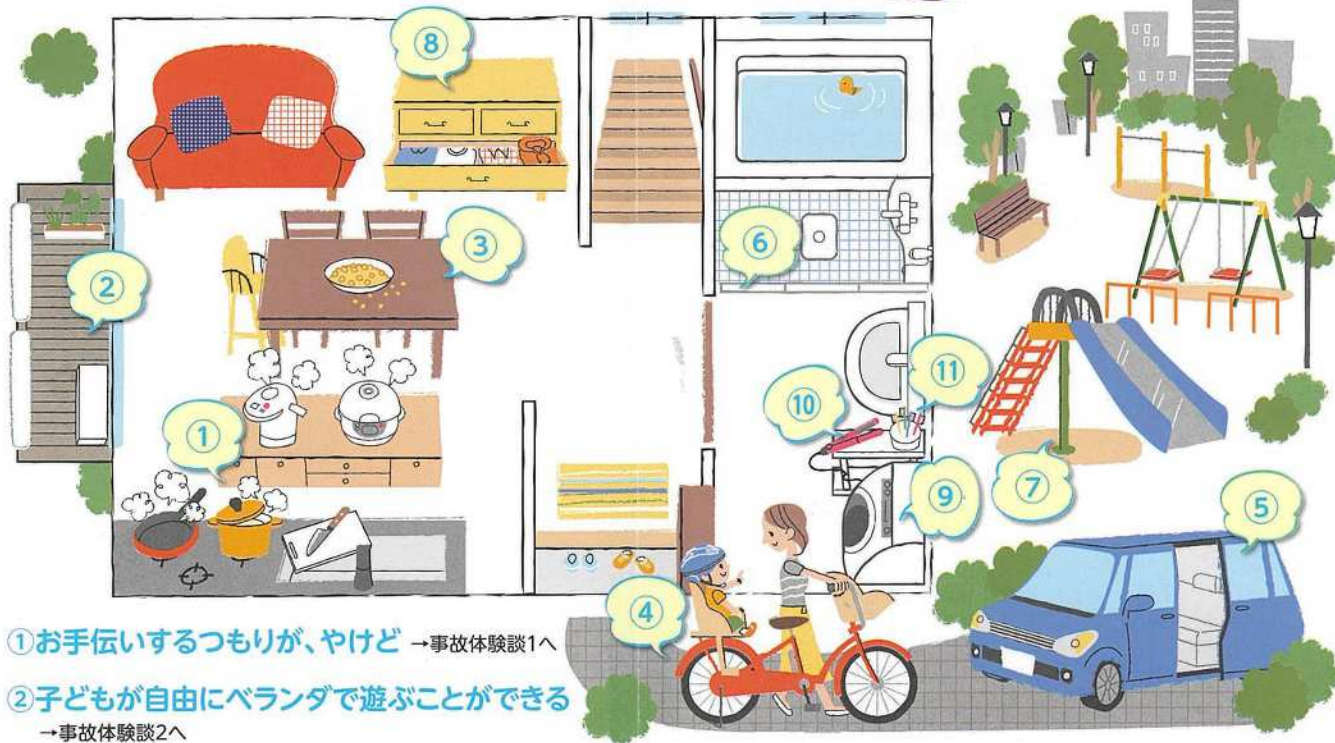


お友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなってきます。知りたいこともたくさん出てきて「なんで?」「どうして?」が多くなり、子どもの世界が大きく広がります。おうちの中だけでなく、外での事故も増えてくる時期です。身近なところから、安心な環境を目指して事故予防に取り組んでいきましょう。

太白区家庭健康課母子保健係

乳幼児の事故予防ワーキングメンバー作成

危険箇所を確認の巻



①お手伝いするつもりが、やけど →事故体験談1へ

②子どもが自由にベランダで遊ぶことができる
→事故体験談2へ

③ピーナッツなど小さい物を口や鼻、耳に入れる
→事故体験談3へ

④自転車の車輪に足を挟めた →事故体験談4へ

⑤車の窓やドアに指を挟めた →事故体験談5へ

⑥浴室に子どもが簡単に出入りできる
→鍵をつけ、自由に子どもが出入りできないようにしましょう。浴槽内に水を貯めたままにせず、蓋はたわみにくくしっかりしたものを選びましょう。



他にも危険なことが
潜んでいるニャ。
子ども目線で家の中や外の
危険がないかみてみよう!

⑦滑り台、ブランコから転落

→大人が遊び方や遊ぶ環境を確認し、遊具の正しい使い方やルール、安全のための服装(フード付きの服を避ける等)を教えていぎましょう。

⑧タンスの引き出しを階段のようにして遊び、タンスの下敷きに
→引き出しを勝手にあけられないようにストッパーをつけたり、転倒防止対策をしましょう。

⑨洗濯機の中に入って遊ぶ
→使用しない時は、蓋を閉めロックをかけた後、水を溜めたままにしないようにしましょう。

⑩ヘアアイロンでのやけど
→使用後も高温で危険です。コードも含め、子どもの手の届かない安全なところに置きましょう。

⑪歯磨きなど(箸や棒付きキャンディ)を口に入れたまま走る
→くわえたまま走らないように見守りましょう。

安全チェックの巻



| 項目 | チェック欄 | |
|-------------------------------------|-------|-----|
| | 1回目 | 2回目 |
| 1 子どもを1人で家や車に残さない | / | / |
| 2 自動車に乗る時は、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せている | | |
| 3 浴槽に水をためたままにしない | | |
| 4 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置く | | |
| 5 タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置く | | |
| 6 ピーナッツやあめ玉などは手の届かないところに置く | | |
| 7 暖房用具(ストーブ・こたつなど)の熱が直接触れないようにしている | | |
| 8 ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置く | | |
| 9 階段に転落防止用の柵を取り付けている | | |
| 10 お箸や歯ブラシなどをくわえたまま走らせない | | |
| 11 ベランダや窓のそばに踏み台になるものを置かない | | |
| 12 すべり台やブランコの安全な乗り方を教えている | | |

健やか親子21 事故防止対策より

トイレットペーパーの芯と
ほぼ一緒なんだニャ!

この円の中を通る物は
子どもの口に入ります
(直径39mm)
この円より小さいものは
手の届くところに
置かないように
注意しましょう



子どもをそっと見守るネコ忍者